

制作概要

本作品は 2015 年、第 83 回 NDK 日本デザイン文化協会ファッションショー「Over the Rainbow 〜虹の彼方に〜」に出品したイブニングドレスである。

ショー・タイトルである Over the Rainbow は、有名なミュージカル映画『オズの魔法使』(1939 年)の劇中歌であるが、今回ショーに作品を出品するにあたり、ショー・タイトルのような古き良き時代の映画にちなんだ衣装をデザインしようと考えた。そして今もなお色褪せず人々の記憶に残る“銀幕の妖精”オードリー・ヘプバーンへのオマージュとなる衣装をデザイン制作した。

オードリーは『ローマの休日』、『麗しのサブリナ』、『ティファニーで朝食を』などに出演し、ハリウッドを代表する人気女優であることは周知の事実であるが、映画界ならびにファッション界のアイコンとしても知られている。米国映画協会 (AFI) の「最も偉大な女優 50 選」では第 3 位にランクインしており、インターナショナル・ベスト・ドレッサーにも殿堂入りしている。

オードリーは当時ハリウッドでもてはやされていた金髪で豊満な女優たちとは異なり、痩身に大きな瞳と長い脚を持ち、ショートカットやパンツスタイルなど映画ファッションに新しい風を吹き込み、知的でハンサムな女性像で多くの人々を魅了した。

今回制作したイブニングドレスはオードリーが 1966 年に出演した映画『おしゃれ泥棒』のオープニングの軽快なドライブシーンからインスパイアされたもので、オードリーの優雅でエレガントな部分を身頃からボトムに伸びたフリルで表現し、知的でハンサムな部分はスカートではなくあえてパンツで表現した。パンツスタイルのイブニングドレスという新しいドレスのスタイル提案である。

白坂 文

「オードリー・ヘプバーン

『映画：おしゃれ泥棒』

へのオマージュ」

イブニングドレス

NHK大阪ホール

●使用素材

メタルサテン、メタリックチュール、合皮レザー、ケミカルレース、ベルト金具、スナップ、コンシールファスナー、前髪用ウィッグ

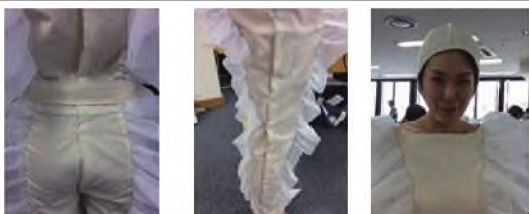
●付属品

アクセサリー（ネックレス、サングラス）

●パターンメイキング

文化式原型を使用し、モデルサイズの身頃、袖、パンツのパターンを作製

●仮縫い点検



1) ウエスト位置が低くベルトの下からウエストの切り替え線が見えたため、ウエストライン(WL)を 5 cm 上げた。

2) ヒップ寸法が足りていなかったため、ヒップを 3 cm 出し、ヒップライン(HL)から膝丈(KL)を新たに引き直した。

3) 身頃からパンツにかけて施したフリルの存在感を出すため、パンツを足のラインに沿って細く修正した。(HL~KL、KL~裾)

4) フリル幅は全体のバランスをみて修正。ショルダーポイント(SP)位置のフリル幅を 15 cm とし、ウエスト位置(WL)で 11 cm、ヒップライン(HL)で 8 cm、膝丈(KL)で 5 cm、パンツ裾上がり 5 cm の位置でフリル終了となるように徐々にフリル幅を狭くした。

5) ヘッドドレスのサイズ感を確認し、顎のラインでスナップを留める位置の修正を行った。

●縫製のポイント

1) 文化式原型を使用し、モデルサイズの身頃、パンツのパターンを作製、オールインワンにするためパターンを展開する。

2) 身頃のプリンセスラインからパンツの折山線をフリルを挟み入れる切替え線とする。

3) 身頃は前中心、前脇（左右）、後ろ脇（左右）、後ろ（左右）との 7 パーツ。パンツは折山線を切り替え線とし、前パンツ（左右）、後ろパンツ（左右）の 4 パーツとした。使用生地はメタルサテン

であるが、薄く透け感が出るため、全てのパーツに接着芯で裏打ちを行い、ケミカルレースをランダムにカットして手縫いでメタルサテンに縫い付けた。

4) それぞれ身頃のパーツとパンツのパーツをウエストラインで縫い合わせおく。

5) フリルはメタルサテンをフリル幅×2+（縫い代）分を取り、総丈の 2 倍分で裁断、メタルサテンを縦半分に折りわにした状態で粗ミシンをかけギャザーを寄せた。

6) 身頃のプリンセスラインとパンツの折山線にフリルを挟み込む形で縫製し、それぞれのパーツを制作。パンツはモデルの足のラインにフィットするような細身にするため、膝丈（KL）から裾までにコンシールファスナーを付けた。

7) 袖はモデルの袖丈 58 cm のセットインスリーブとし、袖山はいせ込みのみで袖付けした。

8) ヘッドドレスのパーツにも接着芯を裏打ちし、ケミカルレースを手刺繍しパーツを作り、それぞれのパーツを縫い合わせ帽子を制作、モデルサイズに合わせ顎のラインでスナップを付けた。またモデルは前髪の無いワンレングスであったが、当初のデザインイメージと違ったため、前髪用ウィッグをヘッドドレス前面に縫い付け、ヘッドドレスを付けると前髪があるよう制作した。

9) 付属品のサングラスは元々アイボリーカラーであったため、白のペンキでペイントし、全体のカラーイメージに合わせた。

10) イブニングドレスのウエスト部分にメタリックチュールでオーバースカートを制作。ベルトは合皮レザーにシルバーメタリックの刺繍糸でフォークロア風の模様をデザイン手刺繍し、ケミカルレースのナチュラルなイメージと合わせた。

＜ショーの舞台裏の様子＞





白坂 文
イブニングドレス「オードリー・ヘプバーン
『映画：おしゃれ泥棒』へのオマージュ」
2015年9月18日
第83回NDKファッションショー
NHK大阪ホール